
「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」 活動報告(平成23年度 NO.1)

1. 第20回総会

6月4日(土)、富山市の富山第一ホテルで、「第20回総会」を開催しました。[会員356名中、175名参加]

冒頭、あいさつに立った高澤会長は、「大震災を境に、たくさんの言葉の意味が変わった。『環境』は『守るべきもの』から『一人ひとりが創り、育てるもの』になろうとしている。原子力発電については、福島第一原発事故の原因を究明し、津波対策や電源設備の対応など安全上の問題をしっかりと抑えながら共存していく道が、現実的ではないかと思う。当会は本年記念すべき20年目を迎え、この間、社会の情勢もめまぐるしく変化したが、環境とエネルギー問題はこれからも、私たちの暮らしに必要なテーマ。一步一步皆さまと一緒に考えて参りたい」と、会の活動に対する理解と支援を呼びかけました。

引き続き、平成23年度の活動計画案などについて議事が行われ、承認されました。



高澤会長のごあいさつ



総会の様子

北陸電力の富山支店酒井支店長のあいさつでは、「エネルギー資源に乏しい我が国にとって、原子力の重要性は変わらないと考えている。福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、志賀原子力発電所に必要な対策を施し、より安全になるよう取組んでいく。再生可能エネルギーの導入拡大も積極的に進めるなど、エネルギーの安定供給に万全を期してまいりたい」と述べられるとともに、「今後とも女性の感性を活かしたご意見・要望をお聞かせいただきたい」とお話されました。

また、総会後に北陸電力から「志賀原子力発電所における地震と津波に対する安全強化策」についての説明がありました。



☆発行元・お問い合わせ先☆

「環境とエネルギーを考えるとやま女性の会」

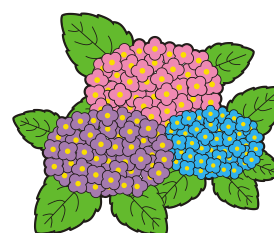
(事務局) 北陸電力株式会社 富山支店総務部総務地域チーム

〒930-0858 富山市牛島町 13-15

TEL 076-441-1251

FAX 076-405-1252

ホームページ <http://www.toyama-enenokai.jp>



2. 設立20年記念講演会

同じく、6月4日(土)、富山市の富山第一ホテルで、当会の設立20年を記念し、作家の神津カンナさんと俳優で気象予報士の石原良純さんのお二人をお招きし、エネルギートークショー「今、あなたと話したい。環境のこと。エネルギーのこと。」を開催しました。会員のほか一般の方も含めて約500名が参加しました。

環境、エネルギーの現状や課題を踏まえ、今後私たちはどのように考えどのように行動していくべきか、「省エネ」「節電」の工夫など、講師のお二人の体験を交えながら語っていただきました。

神津さんは、「地球環境を守るためにCO2を出さない原子力や自然エネルギーを推進してきた中、今回の震災が発生した。エネルギー自給率4%の日本において、今後どのようにエネルギー源を確保していくかは大きな課題」と述べられました。石原さんは「科学する気持ちを持つことが次のエコロジー。新しい技術の利点、問題点に自ら興味を持つことが大切。人任せにできない時代に来ていると思う。」とメッセージを送りました。



楽しく、そしてわかりやすくご講演いただいた神津カンナさんと石原良純さん

★★VOICE★★ ～講演会に参加された方の声～

- 一人ひとりが環境やエネルギー問題に関心を持つことが大事な時代だと思いました。
- ユーモアを交えた楽しいトークで時間が過ぎるのを忘れました。
- 3.11の震災をきっかけにエネルギーをどう変えていくか、よい講演を聴けた。
- 省エネについて自分にできることを真剣に考えたいと思いました。
- お二人の豊富な知識が飛び交い、有意義な情報を得ることができました。

なお、会場ロビーにおいて東日本大震災の義援金を募りました。10,977円が集まり、日本赤十字社富山県支部に寄付いたしました。ご協力、ありがとうございました。